

NO	時期	時期区分	タイトル	場所	概要	提案者
1	2005	後期	緑の工場ガイドライン策定業務	堺市産業振興局	工場立地法の緑化基準緩和に伴う質の高い緑化形成を誘導するガイドラインの策定／緑地率を緩和することで、緑化基準を満たしていない老朽工場の建替えが容易になり、緑地増につながる。同時に質の高い緑地形成の誘導を図る。	河本一行
2		前期	兵庫県大規模建築物等指導基準素案の作成	兵庫県	・兵庫県下の大規模建築物の意匠をコントロールする基準となり、現在まで生かされている。	山崎正史
3	2004	後期	晴海三丁目西地区に係わる景観形成ガイドライン	東京・晴海	・公共と民間の協調による開発が行われる当地区において、一体的な景観形成を図るため、建築・ランドスケープ・照明が一体となったガイドラインの作成を行った	堤 肇
4		後期	緑豊かな地域環境の創造に関する条例の全県展開	兵庫県	地方都市と中山間地域を主対象に、地域景観の保全と創造を主眼とする土地利用計画を検討し、その実現手段として開発行為の規制誘導ガイドラインを検討した。景観保全と地域活力創出とを両輪で推進することを重視し、緑条例と地域づくり活動との連動を企画した。	堀口浩司
5		前期	祇園町南側地区の建築意匠指導	京都市祇園	祇園女紅場学園が一部の土地を所有しており、地主の権限で町家の建て替え、改造の意匠を私と女紅場学園担当者とともにチェックし、施主・設計者・施工者と会合をもって意匠の調整を行い、市の地区指定のない時期に地元で町並み景観の保全を行った。1992年以来、現在も続いている。	山崎正史
6		前期	古都における歴史的風土保存のありかたに関する調査		京都市他古都における歴史的風土保存の効果について調査・分析	宮前保子
23	1991～	前期後期	景観を色彩から提案する	堺市、豊中市、吹田市他	景観行政において、多くの色彩アドバイスをを行い、地域の色彩的調和を進めてきた。公共の色彩を考える会、街の色研究会・京都などの会において、研究、啓発事業、出版事業、計画提案、政策提案の実施。景観色彩、屋外広告物におけるデザインの考え方についての普及、問題提起。具体的な計画に対する色彩計画。等	藤本 英子
8		前期	京都市における市街地景観制度見直し調査(1992)	京都市	1972(昭和47)年に制定した「京都市街地景観条例」改訂のための基礎調査であり、市街地景観を幅広くカバーする種別区分の考え方やコントロール基準の拡張などの検討結果は、1995(平成7)年の「京都市街地景観条例」、その後の景観法制定の枠組みなどに反映されている。また、1993年に行った「京都市屋外広告物整備関連調査」は同様に屋外広告景観規準を全市域に広げて再編成するための調査	田端 修
9		前期	低平地における水環境の調査とその整備方向の検討、モデルプロジェクトの実施	佐賀	佐賀低平地における水路網の調査研究を実施し、従来の排水路としての土木工事にかわる伝統的水路の形態・材料、生態系を重視した水路デザインの基本方向を提示し、モデルプロジェクトを佐賀市嘉瀬町に実施した。その概要は、『低平地集落の水環境とその整備方向-佐賀市南部地域』として「低平地研究」No.5、1996年に共	金澤成保 小園 隆嗣
10	2008-2009	後期	Landscape Lightingカタログ2009-2010にて発表 <都市景観の“情景のあかり”を構築する照明手法の創出と体系化>		都市で生活する人々の“あかりシーン”を豊かにする新照明手法の創出と体系化を推進。都市景観計画に関わる様々な人々に“あかり”の重要性の再認識を促し、関心度を高めていくことで、より豊かな景観照明が生み出されること。	長町志穂
11	2001-2009	後期	「神戸新聞地でのあかりによる街づくり」【中心市街地活性化・街並みデザイン整備】	神戸市新聞地	市街地・商業地での街づくりを「あかり整備」をキーマンに実施することで、美的価値の創出にとどまらず地域の活性化や安全安心を実現した。タウンマネジメントの有効手法の一例。モールの照明改修とゲート演出(2001)、聚楽横丁の灯り整備によるひたつき撲滅(2003) 湊町住宅地区あかりの家並み整備(2004,05) モール路面改修とインジケーター演出(2008,09)	長町志穂
12	2001-2009	後期	「御堂筋光回廊2009事業」2009年【都市魅力整備】	大阪市御堂筋	御堂筋 1.2kmの銀杏の照明演出による都市観光イベントの実施計画策定およびデザイン業務	長町志穂
13		後期	京都景観スタディ	京都	JUDI京都景観スタディチームや担当する大学の授業において、地域の皆さんと話し合いつつ町並みの景観シミュレーション画像を作成している。姉小路界隈では町並み環境整備事業の候補建物の改修デザインを、木屋町界隈では高瀬川の風情を生かした町並み提案を行っている	中村伸之
14	2001-2009	後期	「草津・街あかり・華あかり・夢あかり」(2006,07,08,09年)【中心市街地活性化・灯イベント】	草津市草津駅周辺	草津駅周辺の2kmにわたる地域での住民参加型・灯りイベントのプロデュース。近年各地で盛んに実施される住民参加型の灯りイベント。「あかり」は街の主体である住民とコミュニティの活性化に有効であり、重要な観光資源となる。	長町志穂
15	2000-2009	後期	<質の高い都市景観のあかりを構成する照明器具の開発>			小園 隆嗣
16	1991-2000	前期	視線誘導標「ナビポスト」		道路景観及び交通安全環境に貢献する新しいデザインの視線誘導標 通産省 グッドデザイン 景観賞受賞	野口 和裕
17	2001-2009	後期	鹿背山の里山再生ワークショップ	関西学研	都市開発からの撤退し、放棄された里山(関西学研都市・木津北地区)。里山公園への道筋を探るため、「マツタケ山の再生」「子どもの遊び場づくり」「地場産業である柿畑の再生」などをテーマに月2~4回程度、地元住民を中心に里山に関わる人の輪を作る実験的なワークショップを行っている。	中村伸之
18	2001-2009	後期	「各種大規模集合住宅にみる環境価値としてのあかり」【集合住宅の照明計画】		典型的集住の形であるマンションの計画において、近年あかりの果たす役割は大きい。人の生活環境で求められる現代のあかりとは何かをさぐり、より豊かな生活実現を目指す必要がある。「浜甲子園団地・第一期2BL」「JR高槻北東地区整備事業」「エアフォレスト一番町」「ザ・レジデンス豊中」「白鷺駅前計画」など各種	長町志穂
19	2001-2009	後期	東海道 品川宿周辺まちなみ整備	東京都品川	歴史的な風景が失われつつある状況を改善するために、商店街灯、ぼんぼり照明、親柱照明、石畳舗装、店舗(建物)のファサードのデザイン、整備を行った。店舗のファサード整備に関しては、意向を聞きながら店舗(建物)ごとにデザインを行った。また、まち歩きの見学や地域の人々へ情報提供として、お休み処、石標柱、路地看板、まち歩きマップ(英語版)を作成した。	辻 浩子
20	1991-2000	前期	祇園商店会 犬矢来柵	京都市祇園	歴史と景観に配慮した歩車分離柵	野口 和裕
21	2001-2009	後期	近江八幡薬師橋の意匠設計	近江八幡市	伝統的建造物群保存地区の境界に位置する橋の付け替えに際し、橋梁の構造設計と調整し伝統的な意匠で周辺景観となじむ橋を建設した。意匠設計し、実施における調整まで参加した。	山崎正史
22	2000-	後期	篠山市中心市街地活性化基本計画及び王地山公園ささやま荘増改築設計業務	篠山市中心部	旧篠山町中心部を核とした中心市街地活性化基本計画が策定された。またこれに基づき観光振興を目的とした旧国民宿舎篠山荘改築事業と公設民営化事業を実施した。業務にあたり篠山市の持っている歴史文化自然等の“地域の文脈”を最大限活用した計画とすること、国民宿舎建て替えにあたり地域の風土を継承した民家をデザインモチーフとし地域景観になじむデザインと素材感を提案した。単に建築デザインにとどまらずまちや都市のデザイン・景観と一体協調が可能なデザインとはという視点で提案し設計した	田村博美
23	1991～	前期後期	景観アドバイザー	堺市 他	関西において、早くから景観条例や景観要綱に基づく、大規模建築物などの届け出制度が導入されてきた。景観法施行後も、同制度のもと、届け出物件に対して景観上のアドバイスを個別物件毎に行うものである。専門性を持った筆者などのアドバイスにより、周辺との関係において個別計画毎に求められる配慮事項や、色彩など専門的な分野でより良質の景観形成を目指すための方向性を示すことが可能である。地域の景観は、一つ一つの積み重ねであることを考えると、長い年月の間にアドバイスの効果は確実に現れている	藤本 英子
24	1991-2000	前期	「なぎさ海道」の理念、整備イメージについて提案	大阪湾岸	大阪湾の水辺を人間環境の場として開放、整備し、ぐるっとめぐりような「海道」を整備する「なぎさ海道」の整備構想策定に向けて、大阪湾の水際の現状を調査・分析するとともに、「なぎさ海道」の理念の確立及び具体的ななぎさ海道の整備イメージについて提案を行った	森川 稔